SOCIAL　ACTIVIST　レモン社長

池永憲彦

Kazuhiko　Ikenaga

Biography　2007~2017

池永　憲彦　KAZUHIKO　IKENAGA　　レモン社長&ソーシャルアクティビスト

NPO 法人 Happy Japan Project

HAPPY JAPAN PROJECT とは？

あるミュージシャンとパラリンピックアスリートとの出会いから始まった 2008 年北京パラリンピックに向けての新プロジェクト。そこから広がる輪が当初の目的であった「パラリンピック応援」を越え、様々な社会貢献活動に向けて始動した。

ポップスバンド「ジャンクルーズ」で３枚目のアルバムのリリースを控えた VOCAL 池永憲彦が医者に喉の病気を宣告された。音楽活動の断念を余儀なくされ、バンド活動も休止した時期にパラリンピックアスリート河合純一と佐藤真海と出会う。二人の人柄に魅かれ、親しくなって行く中でパラリンピックの現状を聞く事になり「**なんでこんなにすごい競技があんまり注目されてないんだろう？**」と疑問を感じた池永がパラリンピック啓蒙活動を目的とするイベント開催を決意。元々の広い人脈を生かし、次の日から北京パラリンピック応援イベントを開催する為に有志を集める。広がっていく輪の中で、その主旨に大いに賛同した知人である神社本庁渡邊剛氏の協力により、**オリンピック金メダリストの荻原健司氏**をコーディネーターとして迎える事になり、社会的イベントとしての基盤が徐々に出来上がる。

イベントは**元外務副大臣の矢野哲朗氏**、武市敬氏（現東京都財務局長）の協力により、東京都と東京オリンピック・パラリンピック招致委員会の後援名義を取得。パラリンピックの大々的な応援は規制により不可能と言われていたが、イベントの必要性を感じて出演頂いた荻原健司氏や、パラリンピアンの活性化に向けてパラリンピアン協会事務局長として活動してきた河合純一選手、車椅子バスケの京谷和幸選手、HJP の中心人物としてイベントに身を捧げた佐藤真海や、賛同者含む関係者全ての気持ちが一つとなり、不可能と言われたパラリンピックのイベントを大々的に開催する事に成功。スタートとなった 2008 年 3 月 30 日（日）に行われたトーク交流イベント「夢を翔ける～パラリンピックアスリートからあなたへ～」は多くの人と企業の賛同を受け、満員御礼、ボランティアスタッフ 30 人と大盛況の中終える事が出来た。翌日に TBS 朝ズバッで紹介され、世の中に HAPPY　JAPAN　PROJECT としての実績を残した。その後バンクーバーパラリンピックの選手壮行会も開催。

2008 年 4 月に法人化になり、トーヨーセンサー株式会社の小堀光由氏を理事長に迎え、NPO 法人 Happy Japan Project が正式に設立された。

HAPPY　JAPAN　PROJECT 公式ホームページ

http://www.happy-j-project.com/

２００７年

- ５月　尾道港まつりで突然声が出なくなり、その後喉の病気が発覚。ボーカリストとして致命的な病気になる。２nd アルバムリリースするも、ライブ活動が難しくなっていく。
- 6 月 4 日　JACA の合宿に参加。渋谷の早朝ごみ拾いを共同で企画。
- **10 月 21 日　第一回渋谷早朝ごみ拾いを実地　その後 10 年続く活動となる。**
- **11 月　パラリンピックアスリート「佐藤真海」と「河合純一」と出会う。**
  二人に刺激を受け、日本ではパラリンピックが注目を浴びていないことを知り、選手主体型のパラリンピックのイベントを企画。後に日本初のイベントになり、注目される。

- 12 月 3 日　佐藤真海と初めて共同講演　池永憲彦スクールコンサート&佐藤真海講演　広島県福山市本郷小学校　（この日の様子は山陽日日新聞に取り上げられる）
  12 月 4 日　佐藤真海と尾道市長を表敬訪問。
- 2007 年 12 月 16 日　パラリンピアン河合純一主演「夢追いかけて」上映会（代々木・利代）
  Happy Japan Project 発足ならびにイベント開催に向けた　プレイベントとして開催

２００８年

- 1 月 13 日　パラリンピックイベント実行委員会「Happy Japan Project」（ＨＪＰ）発足会（代々木）
- 発起人としてパラリンピック関係の組織、議員会館、都庁、オリンピック招致関係にイベントの協力のお願いで通い続け、全ての異例の後援、応援を勝ち取る。
- **2008 年 3 月 30 日 パラリンピックトーク交流イベント**
  「夢を翔ける～パラリンピックアスリートからあなたへ」　発起人
  参考記事：http://dogship.com/20080407/55/

武市敬氏（現・東京都主計局長）　矢野哲朗先生（前国対委員長）

北京イヤーで盛り上がる満員の会場で、この年最初の記念すべきイベントを終えることが出来た。
2008 年のすべてはこのイベントから始まった。

当日は参議院議員荻原健司氏にコーディネーターを務めて頂き、全盲の金メダルスイマーの河合純一さん、車椅子バスケ日本代表の京谷和幸さん、走り幅跳び日本代表の佐藤真海さんらによるトークが繰り広げられた。トーク終了後は、来場者に競技用車椅子を体験してもらったり、目隠しして飴の味当てゲームをしたり、体験

用義足を付けてもらったりと、お客さん参加型のイベントを重視した。
「夢を翔ける～パラリンピックアスリートからあなたへ～」は東京都樋口課長にお墨付きを頂き、今後の活動における大きな実績となった。

集客：３３３人、ボランティアスタッフ３０人　　メディア：ＴＢＳ朝ズバッ！にて放映（3/31）

後援　日本パラリンピック委員会、東京都、東京オリンピック招致委員会、株式会社 LoveRhythm

協賛　株式会社コニーシステム、サントリー株式会社、トーヨーセンサー株式会社、
日本オラクル株式会社、株式会社Ｅ－Ｔimes Technologies、（株）大洋工芸、がんこ屋（有）

協力　カンパラプレス（写真）、株式会社ライツ（演出）、Sleeping-Forest（デザイン）

7 月 23 日　**佐藤真海気仙沼壮行会**　　企画&プロデューサー

- 真海の地元での北京パラリンピックの壮行会を神社本庁古屋宮司さんのご協力により、気仙沼キングスガーデンを繋げて頂き地元での壮行会を開催が叶う。**この時に出会った気仙沼の人達が後に東日本大震災の復興の中心人物になり、その後長い間共に復興に向けて進んでいくメンバーとなる**。とても重要な日である。

8 月 31 日　　応援イベント　ドリーム☆ファイター０８～夢を奏でる芸術祭～　主催

企画&プロデューサー

渋谷 BOXX　出演： la brise、我武者羅応援団、KANAME、阿草康司、池永憲彦
名古屋からはハンディキャップ（ダウン症、自閉症）を乗り越えた異色のダンスユニット、**mixjam**。
キーボードの Yu と、３歳より視覚に障害を持ち音楽の他にもパラリンピック陸上競技も行っているバイオリンの Rin のインストユニット、**la brise**。不可能だと思われることへ挑戦し続ける鬼才のマジシャン、**KANAME**。気合いと本気の応援で世界を熱くするをモットーに人々に元気を与える社会人応援団、**我武者羅應援団**。急性リンパ白血病の闘病生活から復活し、広島から単身で上京した魂のシンガーソングライター**阿草康司**
魂を伝える異彩のアーティスト達が渋谷に終結し、それぞれが熱いパフォーマンスで観客に大きな感動を呼び起こした。「夢を翔ける」から引き継ぐ夢イベントは、芸術性が加わる事によってＨＪＰの幅を広げた。
ＨＪＰ発起人池永が手掛けたパラリンピックアスリートへの応援ソング「夢を翔ける」に **mixjam** がダンスで参加したコラボは、見る人の心を揺さぶった。

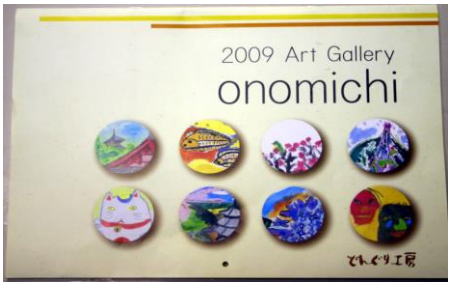
知的障害を持つメンバーで形成されたダンスユニット「mixjam」の活動地点名古屋でのイベントにパラリンピック佐藤真海、池永憲彦、車椅子バスケの京谷和幸がゲスト出演。
1000 人以上入る会場も満席、mixjam のダンスに会場中が感動し、イベントは大成功のまま終わった。

10 月　　尾道施設どんぐり工房 2009 年カレンダープロデュース

池永憲彦の地元尾道にある知的障害を抱えている人がいる施設のカレンダーをたまたま見つけた池永が協力を決意。尾道社会福祉法人の山根理事長に会いに行き、正式に依頼を受け、デザイナー伊藤将秀氏とともに２００９年カレンダーをプロデュースする事が決定。

「良いものを創る」をモットーに**一切の手を抜かずに**作り上げたカレンダーは大反響を呼び、３年連続初の**年内完売**を成し遂げた。

※どんぐり工房のカレンダーは施設の利用者が絵画教室で書いた絵を使って毎年作っている。色彩やタッチなど独創的でユニークなものが多い。



2008 年度と比べて全体的に暖色系を使い、温かさを出した。
絵もテーマを「尾道」に絞り、尾道に関するクオリティの高い絵を選択。日付け線もデザインし、お洒落でポップ感を出した。お客さんを第一に考え、いいものを作れば結果みんなが喜び、売る方も買う方も作る方も利用者も笑顔になる。その笑顔が未来を創る。そんな連鎖を作りたかった。

2008 年度カレンダー

2009 度年カレンダー

11 月 28 日　姫路大白書中学校での教育講演会（佐藤真海、池永憲彦）

600 人近い生徒達の前で、佐藤真海講演、池永憲彦ミニライブ、佐藤真海実演（実際にスポーツ義足を付けて走る姿を披露）、質問コーナー、吹奏楽部とコラボ（夢を翔ける）と、盛り沢山な内容で生徒に夢の大切さを伝える。

教育講演会は先生方、生徒達にも好評で、現在、新しい形の講演スタイルとして定着しつつある。

12 月 1 日～5 日　　企画&プロデューサー

～パラリンピック報道写真展～写真展「感じるパラリンピック」

北京イヤー最後のパラリンピックイベント！
東京都の公式ホームページにＨＪＰの名前が協力として掲載。

当時オリンピック・パラリンピック招致委員会の事務次長をされていた武市敬さんにパラリンピックの報告イベントとして都庁での「写真展」を企画した。開催はすぐに決定。その後この写真展の反響が他の自治体にも広がり、写真展のリレーが始まった。

パラリンピック報道写真展　　写真展「感じるパラリンピック」

（特非）東京オリンピック・パラリンピック招致委員会、東京オリンピック・パラリンピック招致本部

名称： パラリンピック報道写真展「感じるパラリンピック」
日程： 12 月 1 日（月）～5 日（金）　8 時 00 分～18 時 45 分（都庁開庁時間内）
場所：東京都庁第一本庁舎　1 階　中央アートワーク　東京都新宿区西新宿 2 丁目 8-1
主催：東京都、特定非営利活動法人　東京オリンピック・パラリンピック招致委員会
協力：日本パラリンピアンズ協会、HAPPY JAPAN PROJECT 実行委員会

12 月 10 日　**国立がんセンター訪問（佐藤真海、池永憲彦）**

某テレビ局の取材で佐藤が以前入院していた国立がんセンターへ
現在小児がんと闘っている子供たちに会いに行きたい旨を
ディレクターに伝えたことから訪問が決定した。
佐藤真海の希望でクリスマスと言うことで池永がギターを持って参加。全くの
偶然でその院内学級では意識高揚の試みとして、
中高生に楽器を与え、バンド活動を応援するシステムを導入していた。
↓
後日、ＨＪＰから寄付を募り、院内学級にアコースティックギター「オベーション」を寄贈。

12 月 24 日　**第一回クリスマス特別企画「一人一人がサンタクロース」**

オリンピック・パラリンピック招致委員会　共同イベント
池永憲彦ワンマンライブのお客様に呼びかけて集めたプレゼントを、
その翌日施設に届けた。ライブに参加出来なかった人からも多くのプレ
ゼントが寄せられた。このイベントは東京都の企画とコラボし、次の日に
オリンピアン&パラリンピアンと共にプレゼントを届けた。
※このイベントはその後１０年続き、今も続いている。

12 月 25 日オリンピアン・パラリンピアンによるクリスマス施設訪問

・オリンピアンのバレーボールの日本代表キャプテン吉原知子さん（バレーボール）と佐藤真海、池永憲彦

想像と違う子供達の反応に三人共この訪問の意義を感じる。
この企画も招致委員会のメンバーと共に考えたものであり、終わった後に招致委員会メンバーに
「お金をかけて大きなイベントをするよりもやり甲斐のある企画だった」と言う言葉を頂いた。

招致委員会プログラムより

1. 目的　子供たちにスポーツの素晴らしさを伝え、招致活動を少しでも理解してもらえるよう
オリンピアンとパラリンピアンとともに福祉施設を訪問し、交流を深める。
2. 場　所　①七生福祉園（3 歳から 70 歳代の知的障害者施設　生徒数約 330 名）
② 児童自立支援施設（　生徒数約 100 名）**掲載禁止なので名前は伏せます。**

プログラム
1. 吉原さん　紹介＋話＋実技
2. 佐藤さん　紹介VTR（3 分）＋話＋実技
3. 池永さん　紹介＋ライブ
4. クリスマスプレゼント贈
5. 施設側から御礼の言葉

参考資料（東京都の福祉局通信に掲載されました）

東京福祉局通信

☆ オリンピアン・パラリンピアンによるクリスマス施設訪問がありました。

吉原さん（左）と佐藤さん

１２月２５日、七生福祉園に**バレーボール元オリンピック代表の吉原知子さん、走り幅跳び北京パラリンピック６位の佐藤真海さん、**ミュージシャンの池永憲彦さんによるクリスマス施設訪問がありました。

今回の訪問は、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会による２０１６年東京オリンピック・パラリンピック招致活動の一環として行われたものです。

体育館には、幼児、小中学生が約１００名集まり、吉原さん、佐藤さんが、ビデオ映像とともにそれぞれ紹介された後、佐藤さんが競技用の義足で走って見せたり、吉原さんが打ったバレーボールを子どもたちがレシーブをするなど、和気あいあいの中、子どもたちとの交流が行われました。

歌を披露する池永さん

後半は、池永さんによる歌が披露され、最後は「きよしこの夜」をみんなで歌いました。

最後に、今回の訪問に対して、当園を代表して高等部の松田さんがお礼の言葉を述べた後、プレゼント交換を行いました。当園へのプレゼントとしてサッカーボールやクッキーなどたくさん頂き、子どもたちも大喜びでした。

【（社福）社会福祉事業団　七生福祉園】

２００９年

2 月 12 日　◆２月１２日　福山市本郷小学校　講演＆ライブ

- 2008 年に一度訪れた本郷小学校。子どもらしさ溢れる元気なみんなにもう一度会いに行く。2～6 年生のみんなと体育館で交流会。終了後も、写真やサインとたっぷり触れ合い、相変わらずいい余韻の残る学校だった。

2 月 13 日　◆　尾道市日比崎中学校　創立 50 周年記念　教育講演会

池永憲彦の母校・日比崎中学校での佐藤真海記念講演会を企画&プロデュース
最後の二人での掛け合い（質問形式）は、「生徒の心に入ってくる」と評判がよかった。

7 月 4 日◆福山市　大成館中学校　教育講演会　　@西部市民センター

・本郷小学校からのご縁。熱心なPTAのお母さん達の熱意により、音響設備も整った綺麗な会場で、2年生を対象に教育講演会を行った。テーマは、「今、自分にできること」。
佐藤真海による講演→池永憲彦ライブ＆トーク→実演→質疑応答の流れで、たっぷり充実した 2 時間を過ごした。

9 月 9 日◆川崎市　生田中学校　教育講演会

生田中学校は、「命」についての道徳研究の指定校となっており、年間を通して熱心に授業を行っている。真海の著書「夢を跳ぶ」を授業に取り入れている。
この日は、体育館で二人でのいつもの講演＆ライブをした後、全クラスがそれぞれ講演を振り返ったり、本を用いたりしながら道徳授業を行った。真海も全クラスを回って質問に答えたりメッセージを送った。

9 月 9 日◆**香川県高松市立協和中学校　教育講演会**
佐藤真海&池永憲彦

◆11 月 29 日（日）ホテルニューオータニ

バンクーバーパラリンピック出場選手の壮行会　を担当

夢を翔ける　オリンピアン・パラリンピアンからあなたへ～

大好評だった 2008 年 3 月のイベントに引き続き 4 ヵ月後に迫るバンクーバーパラリンピックに向けてのイベントを開催しました。今回は冬季バンクーバーに向かう現役選手や、夏季パラリンピアンのトークや競技紹介に実演、体験コーナーを設け選手と身近に交流できる時間を作りました。会場は沢山の人で賑わい、なんとヤクルト最多投手の館山昌平選手もサプライズでユニフォーム姿で登場してくださいました。パラリンピアンも多数参加し、その様子は後日 TBS みのもんたの朝ヅバッで放映されました。

第二回トーク交流イベント【　夢を翔ける　～オリンピアン・パラリンピアンからあなたへ～　】

■日　時　：　2009 年 11 月 29 日（日）　開場　13：30　開演　14：00

■場　所：　ニューオータニ　ガーデンコート　鳳凰の間（西の間）収容可能人数　椅子席約 240 名

■内　容（概案）◆オリンピアン・パラリンピアンによるトークショー ◆バンクーバー選手へのエール

◆パラリンピック種目体験（車いす、義足）を通した参加者と選手の触れあい　◆パラリンピック写真展

■主催：日本パラリンピアンズ協会（PAJ）

■企画：Happy Japan Project（HJP）　協力：伊藤将秀（デザイン）、越智貴雄（写真）、Strong Heart

■後援：日本パラリンピック委員会（JPC）東京都、日本オリンピアンズ協会

第一回トーク交流イベント（2008 年 3 月 30 日）は応援者とパラリンピアンが一つになって北京に向けての告知イベントを開催しました。今度はその応援者と夏の選手が共に手を合わせ、冬の選手を応援すべく選手壮行会と応援イベントを開催しました。NPO 法人が選手の壮行会を手掛けた唯一のイベントとなりました。まだ認知度が低いパラリンピックですが、その魅力を多くの人に知っていただくため、日本パラリンピアンズ協会の理事でもあり、義足の走り幅跳び日本代表でもあり、Happy Japan Project の理事でもある佐藤真海が中心となってパラリンピアン、応援者と共に手を合わせ、第一回を超える程の素晴らしい内容を提示する事が出来ました。最初に発起人として池永憲彦の挨拶から始まりました。この会で送り出した上原大祐選手は銀メダルを取得して帰ってきました。

●トークショー

荻原　健司さん（参議院議員／JOC 評議員・日本オリンピアンズ協会代議員）

上原　大祐選手（バンクーバーパラリンピック日本代表候補／アイスレッジホッケー）

中島　洋治選手（バンクーバーパラリンピック日本代表候補／チェアカーリング）

森井　大輝選手（バンクーバーパラリンピック日本代表候補／アルペンスキー）

・荻原さんの素晴らしく巧みなトークで選手の言葉もたくさん引き出していただき、選手も笑いあり、しっかり訴えるところは訴え、素晴らしいトークセッションとなりました。実際に競技に使う器具の紹介もあり、冬の競技の面白さや難しさがリアルに伝わり、会場のお客さんは「へぇ～」と感心しながら選手の話に聞き入ってました。

●バンクーバーパラリンピック日本代表候補選手紹介

小川 亜希 選手（チェアカーリング）大日方 邦子 選手（アルペンスキー）狩野 亮 選手（アルペンスキー）永瀬 充 選手（アイススレッジホッケー）夏目 堅司 選手（アルペンスキー）

選手一人一人からバンクーバーへ向けての抱負や今後のスケジュール等を報告。

永瀬選手からのバンクーバーパラリンピックのマスコットのぬいぐるみの来場者プレゼントもありました。

●応援ビデオメッセージ放映

・橋本聖子様　/　・吉原知子様　/　・元プロ野球選手の小宮山様

・今季最多勝投手のヤクルトスワローズの館山昌平投手

・お祝いメッセージ紹介

参議院議員　舛添要一様、矢野哲朗様、有村治子様

●参加者とのコミュニケーションタイム（義足・車椅子体験等）

ナビゲート　佐藤 真海（パラリンピアンズ協会理事／陸上競技）

特別ゲスト　越智 貴雄 カメラマン（10 年間パラリンピックを撮り続けるカメラマン）

ナビゲートとして佐藤真海が加わり、義足やシットスキーの体験。ここのコーナーでなんとヤクルトスワローズの館山投手の登場！！急遽、野球教室終了後、ユニホーム姿で駆け付けてくださいました。館山投手は、競技用のシットスキーを体験するなどした後、パラリンピック選手を応援したい、一緒に何か企画したり、神宮球場にも招待したい、そのためには神宮球場をバリアフリーにというお話もいただけました！

多くの熱い気持ちが一つになって
最高の時間を作る事が出来ました。
パラリンピックがもっと
沢山の人の心を
照らす日がすぐ近くに来ている事を、
私たちは確信してます！

12 月 5 日　◆Heart＆Soul（学生団体）講演会　　国立オリンピックセンター

Heart＆Soul という学生団体の講演会に出演しました。いつもと違って佐藤真海、池永憲彦に荏原商事の社長であり、HJP の事務局長をされている島田薫氏と三人での出演でした。アスリートの真海、ミュージシャンカズ、企業の社長の薫と、かなり話のネタの範囲が広い三人に新しい可能性を感じました。ここに参加した学生の眼はきらきらしていて、参加した三人の話にも熱が入り、あっという間に時間が過ぎて行きました。

12 月 23 日　◆Xmas カンターレ 09～星空に続く足跡～【代々木　ルッコラ】

・HJP クリスマス企画「一人一人がサンタクロース」

ライブあり、ゲームありのクリスマスパーティを開催し、その会場に 1000 円以内のプレゼントを持ってきてもらい、集まったプレゼントをクリスマスに施設の子供たちに届けに行くという企画です。

この日参加出来なかった人達も、郵送でプレゼントを送って頂き、集まった数は 90 個以上でした。

12 月 25 日◆東京都七生福祉園訪問　「　七生クリスマスパーティ」

・去年に引き続き、東京都七生福祉園を訪問。集まったプレゼント約９０個をお届け。子供達と、ゲーム、歌で交流の後サンタクロースが登場。1 時間にわたる暖かい時間を過ごしてきました。

12 月　◆２年目尾道福祉施設　どんぐり工房 2010 年カレンダープロデュース

・社会福祉法人「尾道さつき会」が運営する障害者施設の絵画活動プロジェクト『どんぐり工房』に池永がプロデューサーになって二回目。2009年に引き続き、HJPの協力のもと製作チームを組み、また新しく2010年版カレンダーを作り上げました。今年のテーマは「VOICE(ボイス)」。またしても年内完売を達成。

今年も池永さん協力し
「どんぐり工房」カレンダー

2010 年カレンダー　作品一例

◆8 月 8 日　ジャパンパラリンピックデイ@オリンピックプラザ（屋外スペース）

義足選手による幅跳びの本番さながらのデモンストレーションの他、車いすバスケやゴールボールなど一般参加者がパラリンピック種目を実際に体験できるコーナーありの 2016 東京招致活動の一環としてのJPC主催イベント。

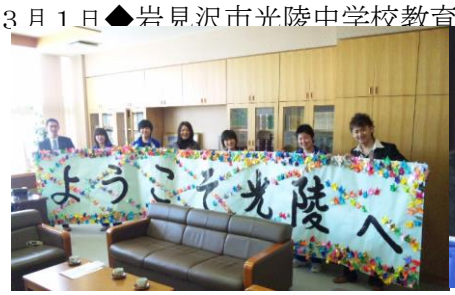
真海はこの日、競技解説デビュー☆　　参加してはしゃぐ池永、高木。カメラマンの越智さんも車いすバスケを体験！

２０１０年

３月１日　◆渋谷区立常盤松小学校教育講演会（東京都）

渋谷駅からほど近いところにある常磐松小学校。公立の学校ですが、「健康・勤勉・上品」を校訓として掲げるおしとやかな学校でした。子どもたちは「少しおとなしいかも」と PTA の皆さんとの打ち合わせの時に聞いていたんですが、なんのなんの元気でなつくのも早い可愛い子供たちでした♪常磐松小学校の特徴は、「**子供たちの手づくり**」。司会、進行、飾りつけまで全部子供たちの手づくりで、心の交流が出来たと思います。

３月１日◆岩見沢市光陵中学校教育講演会（北海道）佐藤真海&池永憲彦



３月１日◆**東京都知事認証 NPO 法人登記完了 （認証番号 1959 認証年月日 平成 22 年 3 月 1 日）**

・ついに Happy Japan Project が法人登記された。正式に社会貢献活動を実地していく。

３月２２日◆**東京都教育委員会主催「みんなで楽しむスポーツフェア」講演会 佐藤真海&池永憲彦**

パラリンピック種目の他、ニュースポーツなど

◆5月2日 ヤクルトスワローズ・パラリンピック選手応援デー（神宮球場）

ヤクルト球団とパラリンピック始球式&応援イベント

「せっかく多くの人が集まる球場で、しかもスポーツが好きな人が集まる場所でこそ出来ることがあるだろう」　　ヤクルトスワローズ　館山

2009 年 11 月 29 日に行われたバンクーバーパラリンピックのトーク交流イベントで協力して下さった**ヤクルトスワローズの館山投手**が佐藤真海に言ったこの言葉で始まったこのイベント。神宮球場での２万人の中で行われたパラリンピック応援デーは、HJP 始まって以来の巨大イベントになった

HJP からは３０人以上が越智貴雄さんのパラリンピック写真展や、
競技用器具の体験コーナーのボランティアスタッフとして参加した。

5 月 2 日（日）横浜戦で「パラリンピック選手応援 Day」を実施

東京ヤクルトスワローズでは、5 月 2 日（日）の横浜ベイスターズ戦（18 時試合開始、神宮球場）において、「パラリンピック選手応援 Day」を実施いたします。東京ヤクルトスワローズの選手とパラリンピック日本代表の選手がタッグを組み、スポーツの素晴らしさを伝えていきます。同イベントは館山昌平投手により発案され、当日は館山投手により招待されるバンクーバーパラリンピック出場選手 50 名（同伴者含む）が来場。スワローズ選手との交流や始球式を執り行うほか、球場正面において展示ブースや義足・車椅子体験コーナーを設置します。

○開催日 5 月 2 日（日）横浜ベイスターズ戦（18 時試合開始、神宮球場）
○予定イベント内容・バンクーバーパラリンピックメダリスト上原大祐選手による始球式

・スワローズ選手とパラリンピック日本代表選手の交流（写真撮影・練習見学・監督表敬訪問など）
・パラリンピック出場選手の観戦招待（同伴者を含めて 50 名）
・場内での競技用器具（アイススレッジ等）の展示・体験コーナー
・パラリンピック写真展及びメダルの提示
・ビジョンやパンフレットを用いてのパラリンピック競技についての紹介

○ゲスト上原大祐選手（アイススレッジホッケー）狩野亮選手（アルペンスキー）森井大輝選手（アルペンスキー）佐藤真海選手（陸上・走り幅跳び）他

●館山投手のコメント

「スポーツには、人に感動を与える力があります。そこにはプロもアマチュアも、そして健常も障害もありません。なぜなら『壁や困難に立ち向かう』ことに人は感動を覚えるからです。昨年。パラリンピックに出場した選手の方々と交流する機会をいただきました。

障害を持つアスリートの皆さんも我々プロスポーツ選手と同様に競技と、そして自分自身と向き合っていることを知りました。彼ら/彼女らが出場してメダルを競うパラリンピックは開催されるたびに世界中から注目を集めますが、障害を持った方のスポーツはもっともっと、
スポーツとして身近に感じられるべき存在です。
『同じアスリートとしてスポーツの素晴らしさをもっと伝えていきたい。』そんな想いがあり、今回のパラリンピック選手応援デー』を発案しました。
僕たちプロ野球選手と同じく、パラリンピアンの方々も多くの子ども達に感動と勇気と与えてくれています。
スポーツの力で感動や勇気を与え続けているパラリンピック。ぜひ今回を機に注目してください」

●競技を知るきっかけに

球場正面の特設テントのパラリンピックを紹介する展示会で、
競技用具やパネルが展示されました。ヤクルトスワローズのファンの
皆さんも興味津々にじっくりと見てられました。

●義足体験

体験コーナーでは実際に義足をつけて歩行にチャレンジ。
体験された方のほとんどが、義足をつけて歩く難しさに驚いてました。

●パラリンピック選手紹介

試合前にはパラリンピック選手がグラウンドに登場し
神宮球場スタジアム DJ・パトリックさんから試合前には、紹介がありました　写真左から上原大祐選手（アイススレッジホッケー）狩野亮選手（アルペンスキー）、　佐藤真海選手（走り幅跳び）　森井大輝選手（アルペンスキー）、

関連記事

ヤクルトは２日の横浜戦（神宮）で「パラリンピック選手応援ＤＡＹ」を開催した。バンクーバーパラリンピック出場選手約５０人が招待され、アイススレッジホッケーの上原大祐選手（２８）が始球式を務めた。球場正面では展示ブースや、義足や車いすの体験コーナーも設置された。このイベントは、昨年１１月にパラリンピック関連イベントに参加していた館山昌平投手（２９）が発案。この日、館山は「スポーツの力はすごい。僕自身もパラリンピアンの方たちから大きな勇気をもらった。今度は僕らヤクルトの選手がパラリンピックの会場に足を運びたい」と話していた。日刊スポーツ

６月２４日◆　**足柄郡清水中学校教育講演会（神奈川県）**

2009 年講演で呼んで下さった川崎市生田中学校からのご縁でした。
熱心な校長先生で、一週間前に事前学習もして子供達も楽しみにしてくれてたので、とてもいい時間が過ごせました。

9 月 28 日◆北海道岩見沢東光中学校教育講演会

10 月 10 日◆大阪摂南大学学園祭特別教育講演会　佐藤真海&池永憲彦

12 月 22 日◆**Xmas チャリティコンサート「一人一人がサンタクロース vol.3」♪**

12 月 24 日◆12 月 24 日　東京七生福祉園訪問 Xmas パーティ

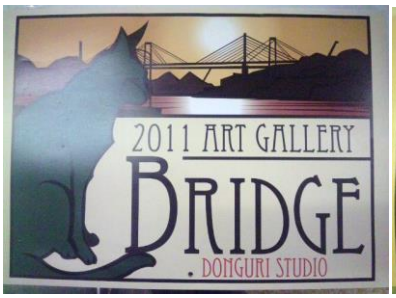
・去年、一昨年に引き続き、東京都七生福祉園を訪問。集まったプレゼント約 100 個をお届け。子供達と、ゲーム、歌で交流の後サンタクロースが登場。1 時間にわたる暖かい時間を過ごしてきました。

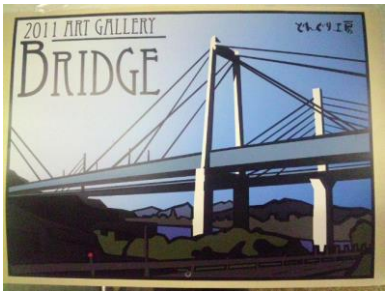
その他の活動

◆施設カレンダープロデュース

三年目のカレンダープロデュース。2009年「onomichi」,2010 年「VOICE(ボイス)に引き続き、HJPの協力のもと製作チームを組み、2011 年 ART GALLERY BRIGE　が完成し、３年連続の 3100 部完売を成し遂げました。

その後プロデュースを撤退。





◆HJP 主催の渋谷早朝ゴミ拾い

「できることから始めよう」から始まった恒例渋谷早朝ゴミ拾い。

参加した人はごみ拾いをする事によって普段の生活の中でも「意識」が変わる。

「細くでも長く続ける」との意識で毎回開催されている。

２０１１年

この年に東日本大震災が起きる。佐藤真海の北京パラリンピックの壮行会で一度気仙沼に行ってることもあり、東北応援活動を決意。その後様々なコラボ企画により長い道のりを共に歩いていく。

・2008 年　パラリンピックアスリート佐藤真海の北京パラリンピック気仙沼壮行会で初めて気仙沼に行く。突然の歌の要望があり、地元の人のギターで夢を翔けるを熱唱。社会法人キングスガーデンの佐藤由美子さん、村上議員さん、気仙沼商会の高橋正樹社長と仲良くなり、その後も年賀状のやり取りを続ける。

3 月 11 日◆　東日本大震災

4 月 2～3 日　**◆第一回東北応援活動　　陸前高田市　気仙沼市**

・NPO 法人 HJP メンバーと陸前高田、気仙沼に尾道ラーメンの炊き出しに向かう。らーめん３３０食、人形焼き 500 個、豆腐５００丁、煎餅やお菓子やマスク、自転車７台、車椅子７台寄贈。まだ道路も分断され、街は壊滅状態だった。気仙沼キングスタウンに行き、物資を届ける。

4 月 11 日　**◆東北応援プロジェクト　一番最初の応援者　富司純子さん**

・池永がファンレターを送った事がきかっけで女優の富司純子さんが炊き出しに 100 万円寄付下さり、寺島しのぶさんと共にメッセージを届けて下さる。その資金を基に再び東北へ。
その翌年も池永に 100 万円あずけてくださる。

5 月 30 日　**◆岩手県宮古市赤前小学校に尾道らーめん炊き出し&青汁**

安倍総理大臣

・女優の富司純子さんより応援頂いた資金で、岩手県宮古市の応援に駆け付けることができた。
着いたのは宮古市の赤前小学校。生徒さん 40 人くらいの小さな学校です。その学校の下に行った所に集会場になってる避難所(仮設住宅が出来てるそうです)があるという事で、そこでやる予定でしたが、雨で下に降るのが危険なので(来る時の道もかなり危険でした)校長先生のご好意で小学校の玄関でやらせて頂ける事になりました。雨だというのにかなりの人が来て下さり、喜んでくださいました。

6 月 18 日　◆東北応援プロジェクト　炊き出し　福島県郡山市ビックパレット

・富司純子さん資金で HJP 仲間 12 名で福島県郡山避難所に尾道らーめん炊き出しに行く。キューサイの青汁がも持っていく。場所：福島県郡山市ビックパレット避難所
ラーメン 350 食、青汁 800 人分、煎餅一箱 名目：放射線被ばくの影響から強制的避難を強いられてい る福島県の避難者の皆さんへの炊き出し支援

6 月 26 日　**◆東北応援プロジェクト　炊き出し　福島県猪苗代湖避難所　飯館村**

場所：福島県耶麻郡大字若宮字横向 「ホテルプルミエール箕輪」猪苗代湖 2011 年 6 月 24 日（日）
総勢１０名 ラーメン 200 食、青汁人数分、煎餅一箱

名目：放射線被曝の影響から強制的避難を強いられている 飯舘村からの 180 名の避難者の皆さんへの炊き出し支

8 月 28 日　**しまなみ音楽フェス～絆～**

・尾道青年会議所主催、気仙沼応援イベント。集客 1000 人。気仙沼からも臼井議長、佐藤由美子さん、山崎さんを始めとする７名と、佐藤真海ちゃんが応援に広島県瀬戸田町に駆け付けてくれる。
委員長の青山が池永の親友ということもあり、このイベントを提案。アドバイザーと現地コーディネーターとして協力。震災後、気仙沼から外に出た初めてのイベントとなる。このイベントをきっかけに尾道 JC と気仙沼の交流が始まる。

10 月 25 日　**◆第１回気仙沼訪問&ライブ**

・俳優森田直幸、ギタリストさとし、
歌手三和大介さん、東京ドーム秘書室長久岡公一郎さん。
震災後初めてのライブとなる。

11 月 6 日　**◆プラスティックオノ☆ミチバンド尾道にこぴんしゃん祭り復興支援ライブ**

12 月 1 日◆山田洋次監督東京物語　～方言指導～

12 月 22 日◆Xmas チャリティコンサート「一人一人がサンタクロース vol.4」♪上野黒船亭

・クリスマスチャリティ LIVE を開催し、任意でお客様に1000 円以内のプレゼントを持ってきて頂き、集まったプレゼントを施設の子供たちに届けに行くという企画です。

２０１２年

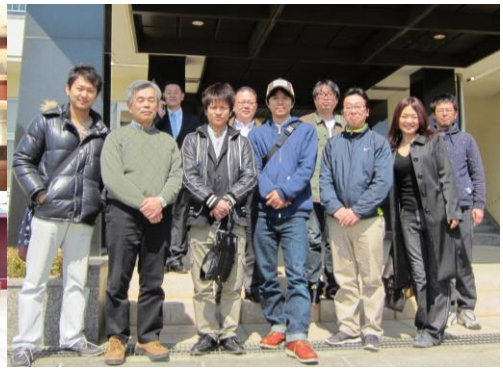
東日本大震災の翌年。本格的に復興に向けて動き始める。義援金も集まり始め、個人では稀有な金額を現地にもっていくことができた。著名人の友人を気仙沼に誘致し、現地でイベントも企画。とにかく出来ることを優先してどんどん進めていった一年。

1 月 26 日　◆富司純子さんに会い、気仙沼現状報告

3 月 31 日◆第 2 回気仙沼訪問　大イベント

・井ノ原氏、森田直幸、東京ドーム久岡公一郎、池永。ライブ&訪問。

富司純子さんから預かった 100 万円、尾道の眼科の大田原、湯浅ご夫妻 100 万円、尾道の浜中皮膚科の浜中先生 100 万円合計 300 万円を気仙沼に届ける。気仙沼小学校、中学校を訪問。佐藤真海も駆け付けた。



5 月 25 日　◆第 3 回気仙沼訪問　池永、アーティストひまりと訪問。

7 月 23 日　◆尾道青年会議所　尾道海フェスタに気仙沼大島から 20 名を招待。

ディズニーパレード。佐藤由美子さん、プラスティックオノ☆ミチバンド出演

池永「7 generation ライブチャリティコンサート」にゲスト出演。夜宮徳で支援者交流会。

9 月 25 日　◆映画アオギリにたくして　クランクイン

・原爆の語り部として有名な沼田鈴子さんの半生を描いた映画にヒロインの兄役として出演。

10 月 18 日　◆佐藤真海&池永憲彦　北海道岩見沢市明成中学校講演

11 月 6 日　◆気仙沼訪問　丸山和也弁護士、ひまり、鈴木あい：

井ノ原快彦氏から預かった支援金 150 万円を気仙沼小学校、中学校に届ける。

ンタ

12 月 24 日◆　東京七生福祉園訪問 Xmas パーティ

２０１３年

佐藤真海が世界へ。東京五輪&パラリンピック招致に向けてのプレゼンテーターに選ばれ、見事東京五輪開催を勝ち取った。五輪の女神とメディアで放映。佐藤真海は一躍時の人に。　一生の食材「瀬戸田レモン」とビジネスパートナー大隅農園の大隅さんと出会う。この出会いにより、一生の仕事が決まる。

3 月 1 日　**◆大田区道塚小学校講演　丸山弁護士、鈴木あい、池永、佐藤洋美**

・大田区にある道塚小学校の校長先生との出会いで始まったこのコンサート。僕が気仙沼に通ってると言う事で、この学校の子供達に現地の事を伝えてほしいという依頼をちょうだいして企画されたイベントでした。６００人の子供が集まり、ゲストには気仙沼から佐藤洋美さんが、アーティストは鈴木あいさん、そしてビックゲストで丸山和也先生にきていただいた。

3 月 16 日　**◆気仙沼ユネスコ協会復興支援報告会**

・アーティスト鈴木あいとライブ出演

・大田原ご夫妻 100 万円、浜中先生 100 万円合計 200 万円を教育委員長にお渡しする。

5 月 3 日　**◆気仙沼訪問　寄付頂いた尾道湯浅眼科大田原さん、湯浅さんをアテンド**

気仙沼市議会議長　臼井義人さん
気仙沼商工会議所　会頭　菅原昭彦さん
気仙沼南ロータリークラブ　理事　小山清之さん。
社会福祉法人キングスガーデン　山崎正信さん、佐藤由美子さん、佐藤洋美さん。

5 月 31 日　**◆気仙沼訪問　元ゼロックス本部長瀧花さんと池永。鮎貝家訪問。**

8 月 2 日　**◆富士山登頂で、イマジニア株式会社　神蔵孝之さんと出会う。**

・後に池永に「ソーシャルアクティビストになれ」とアドバイスして下さった重要な方。

8 月 25 日　**◆尾道史上最大のどっきり「池永ひろみ還暦サプライズ party」**

9 月 10 日　**佐藤真海凱旋　　都庁前広場での凱旋帰国セレモニーからの NHK 生中継。**

・佐藤真海の友人として NHK に出演

9 月 12 日　**◆東京ドームホテルでの三陸フェア企画会議**

・東京ドーム室長久岡さんと池永で気仙沼の食材を東京ドームに入れる為のフェアを企画。後に宮城・三陸フェアに繋がる。

9 月 16 日　**◆リレーフォーライフ　癌支援団体ボランティア　広島ライブ**

9 月 28 日　**◆第　７回　気仙沼訪問　井ノ原氏、森田直幸、久岡公一郎、池永**

久しぶりの大イベント。いのっち気仙沼中学校訪問。

10 月 16 日**◆　東京ドームホテル　リラッサ三陸フェア会議**

・リラッサ統括野上シェフと初めてのご挨拶。三陸フェア企画会議

レモン事業立ち上げ

10 月　大隅農園　大隅さんとの出会い
瀬戸田レモン事業部を立ち上げ、
新規ビジネス展開を広げる
社会貢献活動を振り返り、「誰かの為」
になると力を発揮する性格なので
「日本の食、故郷の食、生産者と共に」というキーワードが重要だった事にこの時に気づいた。

10 月 28 日　**◆道塚小学校教育講演会　佐藤由美子さん（気仙沼）、鈴木あい、DJSASA, 池永憲彦**
11 月 8 日　**◆第９回気仙沼訪問　　三陸フェア視察訪問**・野上シェフ、久岡さん、三陸フェア視察。

２０１４年

気仙沼応援の地道な活動が徐々に結果を出していく。工場も復帰し始めた後の気仙沼の食材を「売る」応援。まずは都内に紹介し、一番最初に「東京ドームホテル　リラッサ」で気仙沼の会社１３社の食材が並んだ。大量の食材が流れ、大きな貢献が出来た。ただ食材を紹介するだけではなく、イベントを主催し集客と宣伝もした。
池永奈津子と入籍、大隅新レモン農園開墾と、重要事項が多い一年。

1 月 8 日　◆ふるさとごちそうグルメ

・気仙沼の食材を使ったメニューがドームホテルリラッサの「ふるさとごちそうグルメフェア」に並ぶ。

2 月 4 日　**◆第一回　気仙沼を味わうグルメフェアで新年会開催**
ドームホテルリラッサ。
・集客８０名。**防衛大臣の小野寺五典さんも参加して下さった。**

気仙沼の食材を都内の人に楽しんでもらおうと、企画。
気仙沼からも市議会議長さんを始めとする沢山のメンバーが
駆けつけた。

４月２７日　**◆「ストリートミニリンピック２０１４尾道」司会**

尾道「みなと祭り」の一環として、開催された「ストリートミニリンピック２０１４尾道」へのパラリンピック選手誘致の協力と司会を担当。

６月　◆宮城 ･三陸フェア企画　東京ドームホテル

兼ねてから提案し、企画していた「宮城三陸フェア」が決定する。
気仙沼の食材を都内に流通させる目標が達成できた瞬間。
東京ドームの秘書室長久岡公一朗さんと、リラッサ統括野上シェフ
と共に気仙沼に視察に行き、１３社の食材を引っ張ってくる事が出来た。
八葉水産、石渡商店、丸上商店、ダイカ、
亀山精肉店、盛屋水産、福寿水産　、丸上商店　、斉吉商店、
ピースジャム、盛屋水産、カネト佐々東
カネカシーフーズ食材を引っ張ってくるだけではなく、フェアを盛り上げる
為にイベントを企画。
８月２０日～９月３０日

９月２１日**◆宮城・三陸を味わうグルメフェアで乾杯！**
気仙沼大宴会第２弾　in 東京ドームホテルリラッサ

集客１０８人。気仙沼からも終結。応援者である女優の
富司純子さん、丸山和也先生、東京ドーム山住社長も参加頂く。

９月１５日　佐藤真海　凱旋トーク交流イベント　in 気仙沼

主催　NPO 法人 Happy Japan Project

９月１７日◆千葉美浜区　幸町第一中学校　佐藤真海講演

久しぶりの佐藤真海と池永のコラボ講演。

◆気仙沼視察　　瀬戸内×三陸のコラボ店企画

宮城、三陸フェアの成功により、より身近に気仙沼食材を引っ張ってきたいと考えるようになる。弟分でもある、飲食店ぶちグループの石原氏と共にはまらいん企画。恵比寿に常設店をオープンさせる計画を立てる。

◆レモン事業拡大　　7700 坪のレモン農園開墾

１０月◆瀬戸内リアス～Teppan KITCHEN～ はまらいん 恵比寿本店　　OPEN!!

瀬戸内 リアス
～Teppan KITCHEN～
はまらいん 恵比寿本店

１１月１４日◆佐藤真海　　尾道商工会議所創立 122 周年記念講演　パネリスト池永

１２月２２日◆クリスマスチャリティ LIVE　一人一人がサンタクロース vol.6

１２月２３　◆クリスマス施設訪問　勝山学園

第６回目の施設訪問

２０１５年

気仙沼、東北支援活動で池永に預けて頂き、届けた義援金が１千万円を超える。広島テレビ　テレビ派ランチ「東京で活躍する広島県人」で池永憲彦取り上げられる。ハワイで挙式し、東京ドームホテル天空の間にてお披露目パーティ。３２０名の仲間に囲まれて盛大に行われた。

３月１１日◆東日本大震災支援資金　大田原さん、湯浅さんから 100 万円、浜中先生から 100 万円預かる。池永が預かり、東北に届けた義捐金が１千万円を超える。

３月１４日◆気仙沼　尾道視察ツアー

今後の復興に向けて気仙沼から尾道市の取り組み、街作りを参考に５名お越しいただく。

４月１０日◆気仙沼訪問　　復興支援金を気仙沼に届けにいく。

●社団法人気仙沼すみよさ創造機構（企業と行政の橋渡しを通じて、気仙沼をより住みやすい街にしていくためのモデルを創る官民一体の組織）のお手伝い。（立ち上げ HP の制作）

●学校教育生涯学習　文化振興

●NPO 法人底上げ（若者（高校生）を対象にしたプログラム）へ寄付

４月２１日◆TOKYO ブランチ　テレビ広島　で「東京で活躍する広島県人」で取り上げられる。

４月 22～28◆がんこ屋イベント広島ブランドショップ tau 売上最高記録更新

５月２日◆尾道みなと祭り　３年連続「ええじゃん san さがり」審査員に任命

１０月９日　◆AISe 緊急結成　台風 18 号チャリティ LIVE

台風 18 号による鬼怒川の堤防決壊で浸水などの被害を受けた地域に義援金を届けるために、開催したチャリティーライブ。

２０１６年

九州で大地震が発生。５年間気仙沼に通って培った経験と人脈を基に、スピーディな応援活動が出来た。一番被害が大きかった益城町で避難所としても使われた老人福祉施設「ひろやす荘」に縁があり、　そこを拠点に活動した。２ケ月に一度熊本に通い、義援金を届けたり、ライブ、イベントを開催し、現地と絆を深めた。

４月１４日　◆熊本震災発生

４月２３日◆尾道みなと祭り　４年連続「ええじゃん san さがり」審査員に任命

４月２４日◆熊本大震災　第一回益城町支援でひろやす荘に物資支援と義捐金

富司純子さん、井ノ原快彦さん、浜中先生、大田原さん湯浅さん、自分合わせて 400 万円の義捐金が集まる。

2016 年 4 月 24 日（日）～25 日（月）

訪問先：熊本県神社庁/おはな整骨院/**特別老人養護施設「ひろやす壮」**

神社本庁：渡邊剛/おはな整骨院　常務　秋吉泰樹　健軍院院長　木村毅一郎

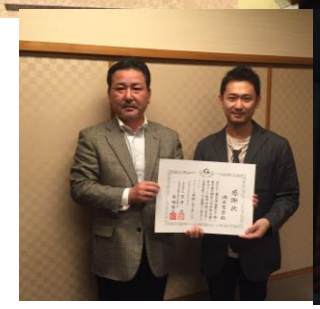
NPO法人HJP　池永憲彦　池永奈津子**結果は必要な物を NPO 法人メンバー渡邊剛氏の所属する熊本県神社庁で現地調達し、支援金と共に大量に届ける事が出来ました。**

◆ひろやす壮に届けた物資

●飲料水　450 本　●クレラップ 30 本入　2箱　●ダイアラップ 30 本入　2箱●ぽり袋 50 枚入　1箱●白がゆ　100 個　●梅がゆ　140 個　●卵がゆ　200 個　●鮭かゆ　140 個●なめ茸 15 入　12 箱　●ケチャップ 20 入　2箱●米　30 キロ　6俵　●ウェットティッシュ　15 入箱●ウェットシート1箱　●除菌アルコールスプレー 400n10本●ブルーシート10枚×４　●アルコールポケットウェット　10枚×3●かつおつゆ　6入　1箱　●ごまドレッシング　6入　1箱●四季のつゆ　6入　2箱　●マヨネーズ　20 本

●嚥下食 318 食　※記載者 奈津子　**義捐金 20万円**

４月２８日◆気仙沼市長、教育委員会教育長より
感謝状をいただく。



５月２７日◆熊本震災支援「益城町ひろやす荘」
気仙沼から震災のアドバイザー（山崎親分、
佐藤由美子さん）をお連れする
的確なアドバイスを頂戴し、かなり喜ばれた。

６月４日　●熊本震災応援イベント☆第三弾尾道＆気仙沼グルメ！
瀬戸田レモンスカッシュと MUSIC!
現地とコラボして開催した復興イベント。女優の富司純子さんが特別ゲストにきてくださった。
参加者に笑顔がこぼれ、小さい規模でも内容が深いイベントになった。

開催場所　熊本県益城町　特別養護老人ホーム　ひろやす荘

目的　:(1)震災以降避難所としても開放し、被災しながらも復旧活動を続けた
ひろやす荘のスタッフさんとその家族と、避難所の方々に楽しい時間を過ごしてもらいたい。
(2)女優の富司純子さんをシークレット特別ゲストに来て頂き、現地の方に笑顔になってもらいたい。
(3)気仙沼に炊き出しで通った尾道お好み焼、復興に向けて前に進んでいる気仙沼のグルメが今度は熊本の皆さんを元気付ける。東北に通った Artist が心の歌を届ける。

4、イベント内容:尾道お好み焼、気仙沼フカヒレ雑炊、カジキ燻製、瀬戸田レモンスカッシュ＆レモネード
気仙沼ホルモン、レモンケーキ、気仙沼おつまみ昆布、復興応援ライブ、プロの整体師による施術サービス。
メンバー:尾道てっぱん料理くらぶ、チーム GANKOYA、アーティスト鈴木あい（東京）、井上フヂヲ（尾道）、
HJP：池永憲彦、池永奈津子　、熊本に感謝し隊（おはな整骨院）富司純子様　高野アイ子様
参加者：100 名～協力・協賛・寄付：ひろやす荘、ドーバ洋酒貿易、荏原商事（株）、キングスガーデン宮城、
頑固屋有限会社、寺嶋純子様、井ノ原様、浜中和子様、大田原保様、湯浅久美様
主催:NPO 法人 Happy Japan Project

７月１７日◆Happy Japan Project 気仙沼ツアー
８月３日◆気仙沼訪問　新商品開発
９月２日◆熊本益城町応援コンサート「音楽の園」
９月１８日◆リレーフォーライフ広島　ボランティア出演
●渋谷早朝ゴミ拾い９周年
●特定非営利活動法人ふるさとテレビの顧問に就任
１０月１４日◆熊本益城町応援プロジェクト　芸能人訪問　井ノ原快彦氏
１２月２３日◆七生福祉園 Xmas チャリティ LIVEinpapela 一人一人が
サンタクロース vol.7
１２月２４日◆七生福祉園訪問　Xmas コンサート　AISe と
Happy Japan Project

２０１７年

九州震災から２年目にして大きなイベントを開催。現地から要請があり、１年目の日にグルメイベントを開催した。東北と応援方法を変えたのは、東北と違って、熊本は忘れられるのが早いと予想したので集まった義援金を一度に使わず、取っておき、小出しにして通い続けた。お陰で、現地とかなりの絆が生まれた。

３月３日◆AISe　チャリティーコンサート　あきるの市　施設利用者 200 名
井ノ原快彦氏の資金協力により、施設の子供達に音楽を届ける事が出来た。
３月７日◆東京ドームホテルリラッサ　シェフズグルメイベント
気仙沼の食材と瀬戸内のコラボフェアでイベント開催。

４月１６日◆第益城町応援プロジェクト 活動報告　第６弾
熊本地震復興イベント 2017 尾道＆気仙沼グルメ！Music&Salon　in ひろやす荘
１、期間　　平成 29 年４月１６日（日）
２、開催場所　　熊本県益城町　特別養護老人ホーム　ひろやす荘
３、目的　(1) 熊本震災から１年経ったこの時期。以降避難所としても開放し、被災しながらも復旧活動を続けたひろやす荘のスタッフさんとその家族と、今も避難されている方々に楽しい時間を過ごしてもらいたい。
(2) 気仙沼に炊き出しで通った尾道お好み焼、復興に向けて前に進んでいる気仙沼のグルメが今度は熊本の皆さんを元気付ける。東北に通った Artist が心の歌を届ける。

４、イベント内容
【グルメ】: 尾道お好み焼、気仙沼フカヒレ雑炊、瀬戸レモネード、
気仙沼ホルモン、広島菜漬お漬物、瀬戸田レモンケーキ、瀬戸内レモンおこし
【Music】AISe コンサート（鈴木あい、松瀬一昭、井上フヂヲ、池永憲彦）
【Salon】おはな整骨院によるマッサージサロン
【催し物】 バザー　　手形アート　　ワクワク HIROYASU 宝探し　　バルーンリリース
フラワーアーティスト「なかやまれいこ先生」によるお花のプレゼント、当イベントを応援して下さっている
著名人による応援メッセージ：原日出子さん、井ノ原快彦氏、金子貴俊氏、いもとあやこさん。

４月１８日◆作家倉橋燿子さんが池永をモデルにした小説を構想
４月２２日◆尾道みなと祭り　４年連続「ええじゃん san さがり」審査員に任命
５月２６日◆住友生命常務古河久人さん立ち上げる広島の会　お手伝い
６月８～１２日◆東南アジア　バンコク視察
６月１４日◆松下政経塾副理事長　神蔵孝之さんと会食
「ソーシャルアクティビスト」を目指すようアドバイスを受ける。
そこから新しい社会貢献の形を改めて考えるようになる。
７月２日◆林家ひろ木尾道落語会開催
12 月１日◆リモンライフ株式会社設立。代表取締役に就任
12 月 2 日◆富司純子さんを分とく山にお連れする
12 月 23 日、24 日　◆Xmas チャリティコンサート&施設訪問

2018 年
◆麻布分とく山の総料理長の野崎先生が尾道に来て下さる。レモン農園へご案内。
◆瀬戸田レモン 25 年に一度の大寒波で半分以上のレモンに大打撃。食だけではなく、廃棄レモンも商品にできるように事業スタイルを変えていく→香り抽出と有効成分研究、バイオコークスプロジェクトに参加。
◆熊本益城町震災から２年目の応援イベント益城町にて開催（主催）　３００人
◆タイレモン視察　バンコクへ　東南アジアレモンの世界へ
◆西日本豪雨災害　支援活動開始（土砂書き出し、注目されていない場所へメディアを繋ぐ、レモネード 600 人分無料配布、熊本、気仙沼チームと組み、支援活動）

2019 年
◆西日本豪雨災害から１年として尾道駅前の防災イベントをプロデュース
◆西東京市と東京ドームホテルとコラボしてパラリンピック体験イベント&講演会主催
◆銀座 TOKYU プラザ屋上にてパラリンピック体験イベント開催
◆地域活性祭りとして「新開花魁道中」を企画&プロデュース。地元で大反響。
多くのメディアに取り上げれる。
◆一般社団法人倉橋惣三協会を設立　保育教育事業のプロデューサー就任
2020 年
株式会社モスフードサービス　顧問就任
マーケティング、社内研修、ホストタウン事業、海外マーケティング、CSR、アート、スポーツなど